
恋

まつゆう。

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋

【Zマーク】

N1804V

【作者名】

まつゆう。

【あらすじ】

私が恋と出会ったのは幼稚園のとき。
それから数えきれないくらい恋をしてきた。

大人に近づいた今、その恋を振り返る

初恋

私の初恋は幼稚園の頃。

顔が整つていて、綺麗な顔をした男の子だった。

毎日一緒に遊んだ。

いつの間にか両想いになっていた。

私はそれを、母から聞いた。

これが間違いだったのか、
正解だったのかは分からない。

もしかすると私は、こんなにも簡単に気持ちが伝わること、

それが普通だと思い込んでいたのかもしねい。

それがこれから私の

恋

を変えていく。

いい方向にも

悪い方向にも。

そんなのこの頃は全然気付かなかつた。

だから、

恋つて楽しいものだと思つてた。

未熟

あれから私はたくさん恋をした。

小学2年生のときには、

佐藤という男子を好きになった。

佐藤は草食動物のようで可愛く、話していると笑いが絶えないような人だった。

おまけに男子からも女子からも人気で、私には完璧な人間に見えた。

そんな佐藤が、

大好きだった。

しかし、この気持ちを抱くのは私だけではない。

ライバルはたくさんいた。

毎日が勝負だった。

「今日は3回話した」

とか

「消しゴムを貰してもらった」

とか、すくへ小さなことだつたけど、その行動1つ1つが宝物になつていく。

2月14日

バレンタインデーにチョコをあげた。

彼は、少し照れながらも受け取ってくれて、

「ありがとう」

といった。

私はそれだけで満足だつた。

しかし1ヶ月後には

ホワイトデー

がある。

何をもりえるのかと考えると、いろいろな期待が生まれ、その期待はふくらんでいった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1804v/>

恋

2011年10月9日11時48分発行